

兵庫県オリジナル主食用米品種の育成

【背景・目的・成果】

主食用米の産地間競争が激しくなるなか、競争力のある水稻品種が求められています。そこで、県ではJAグループ、生産者、実需者と連携し、平成28年度から県オリジナル品種の育成に取り組んでいます。

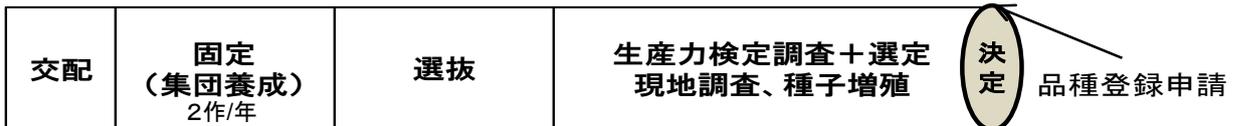
施設・備品の整備、遺伝子解析技術の活用等により、育種期間の短縮、効果的・効率的な選抜を行い、平成36年度の品種誕生を目指します。

【育種目標】

- ①キヌヒカりに替わる高温耐性・良食味品種 **最重点目標**
 ②早生の良食味・高温耐性品種 ③晩生の高温耐性品種 ④極多収・業務用品種

【新たな育種方法による品種育成スケジュール】

経過 年数	1年目 (H28)	2 (H29)	3 (H30)	4 (H31)	5 (H32)	6 (H33)	7 (H34)	8 (H35)	9 (H36)	10	11
育種 世代	交配	F1/F2	F3/F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	栽培開始	



【施設・備品の整備による育種の効率化】



年に2回
栽培し
世代を
促進

(世代促進温室)



高温条件
で栽培し
高温に強
いか検定

(高温耐性検定温室)



(穀粒判別器)



ラビットビスコ
アナライザー



(食味計)

高性能分析機器を用いて、迅速に品質・食味を解析する

【遺伝子解析技術(DNAマーカー)の活用】



個体ごとに遺伝子を解析
(高温に強い個体だけがもつ遺伝子を見つけ出す)



DNAマーカーとして選抜に活用

【技術の活用】

高度な環境制御温室、高性能分析機器、先進的な選抜技術を用いて、食味・品質に優れた品種を育成します。